

2019年度厨房設備士試験実技試験結果 講評

2級

(1) 厨房機器配置図の不適切箇所を指摘し、その理由、改善策を答える問題

厨房設計者、機器設置施工者が知っておくべき知識、法的な禁止事項、設置時のルールを習得するために、配置図の不適切な6箇所を指摘し、その理由・改善策を答える問題でした。今回は図中のガス機器に貼られている離隔距離の表示銘板を提示して可燃物からの離隔距離も不適切項目に加えましたが、離隔距離を含めて高い正解率でした。

(2) 厨房平面図の機器の穴埋め、シンボル記入、機器リスト空欄埋め問題

機器の穴埋め

機器の選択は、ほとんどの受験者ができていました。但し、図の描き方が不適切なものもありました。

(不適切例)

- ・冷蔵庫 扉の軌跡の描き方。高さのある機器を表す一点鎖線。
- ・立体炊飯器 形状、扉の軌跡の描き方が不適切なもの。
- ・一槽水切付シンクの水切り部の描き方が不適切なもの。

シンボル・フード記入

全体的に、よくできていました。但し、今回は減点しませんでした。ガス回転釜の各シンボルの位置が適切なものは少数でした。

機器リスト空欄埋め

機器の穴埋めができていたため、機器リスト空欄埋めも高い正解率でした。

まとめ

不適切箇所の指摘、厨房平面図の機器の穴埋め、シンボル記入、機器リスト空欄埋め問題は例年と同じ傾向の出題方法で、3年分の過去問題を配布したこともあり全体的に高い正解率でした。